

文化財保護・
町史編さん

6 文化財保護・町史編さん（歴史・文化の保存と継承）

（1）文化財保護・町史編さんの方針

松伏町は、古利根川と江戸川に挟まれ、中央には中川が流れる水と緑に囲まれた自然豊かな農村集落であり、多くの文化財が継承されてきた。

しかし、東京都心から約30kmの首都圏近郊整備地帯に属する松伏町は、高度経済成長期以降、首都圏のベッドタウンとして人口が急増し、開発によって市街化が進んできた。その結果、自然の減少、祖先が残してきた貴重な文化財の散逸ならびに、風俗習慣の風化等をもたらしている。

このような背景の中で、歴史資料の収集と保護は急務であり、これらの考察・分析・研究を行い、現在の松伏町が形成される歴史的発展の過程を学術的に解明し、町民の郷土に対する関心と愛着を深めることは、これからの文化を育てていく上で大きな意義がある。時代の流れを的確に把握し、永く歴史と文化を後世に伝えて将来の郷土づくりに資するため、令和5年度の文化財保護・町史編さんの重点を設定する。

（2）文化財保護の重点目標と施策

文化財は過去にその地に暮らした人々の生活、文化の記録であり、今日の社会を理解する上でも欠くことができないものである。現在まで受け継がれてきた貴重な文化財を絶やすことなく、後世に残していけるよう、積極的な調査、研究、保護活動を推進していく。

I 文化財の調査及び保護

町内には現在、県指定文化財4件、町指定文化財33件が所在しているほか、埋蔵文化財包蔵地が23箇所を確認されている。この他にも多数の貴重な文化財が所在しており、こうした文化財を保護すると共に現状の記録保存を行うことで、将来に渡って継承していく。

II 文化財保護の普及啓発

町史編さん及び文化財の調査において得られた資料を周知・公開することで、町民のより一層の郷土への愛着を深めるとともに、文化財保護意識の高揚を図る。また、生涯学習の一環として文化財を活用した学習の場の提供などを行っていく。

- 子ども歴史講座の開催
- 歴史講座の開催
- 文化財写真展の開催

（3）町史編さんの重点目標と施策

日本史の流れの中に松伏の歴史を捉え、町域に限らず周辺および関連地域の歴史資料を総合的に扱う。十分な調査・研究を行い、これをもとに刊行する町史は学問的な評価が得られる内容を維持するとともに、写真・図表等を活用してわかりやすく親しみやすいものを目指す。また、収集資料は、町民が活用できるよう整理・保存・管理し、永く伝える。

I 町史の調査及び研究

町史編さん事業では町の歴史をより多角的に調査・研究・周知するため、時代や分野ごとに専門部会を設置して調査を行っている。

- 【専門部会】 ○自然部会 ○考古部会 ○古代中世部会
 ○近世部会 ○近現代部会 ○石造物絵馬部会

各部会の調査研究結果をまとめそれぞれ資料編を刊行し、その過程で得られた最新の情報を基に通史編を刊行する。令和5年度は『松伏町史 文化財編 石造物・絵馬・指定文化財』を刊行する。

(4) 指定文化財一覧表

指定番号	県・町指定年月日	種 別	名 称	員 数	所 在 地
1	1975年6月1日	有形民俗文化財	蓮福寺の絵馬	3点	蓮福寺(松伏町大字下赤岩)
2	〃	有形文化財	俱利伽羅不動剣	一式	宝珠院(松伏町田中)
3	〃	〃	金剛界大日如来坐像	1軀	〃
4	〃	〃	地藏菩薩坐像	1軀	無量寿院(松伏町大字上赤岩)
5	〃	史 跡	静栖寺の石塔群	34基	静栖寺(松伏町田中)
6	〃	有形文化財	源光寺の帰依仏塔	1基	源光寺(松伏町大字上赤岩)
7	〃	〃	石川民部関係文書	104点	個人(松伏町田中)
8	〃	無形民俗文化財	ささら獅子舞		松伏神社(松伏町田中)
9	〃	有形民俗文化財	延宝の庚申塔	1基	妙楽寺(松伏町大字大川戸)
10	〃	有形文化財	ささら獅子舞の免許状	1枚	松伏神社(松伏町田中)
11	〃	〃	釈迦十六善神図	1幅	静栖寺(松伏町田中)
12	(指定解除)		(静栖寺のクロマツ)		
13	1980年4月2日	有形文化財	十一面観音立像	1軀	静栖寺(松伏町田中)
14	〃	〃	杉浦家関係文書	207点	個人(松伏町大字大川戸)
15	〃	天然記念物	八幡神社の社叢		八幡神社(松伏町大字大川戸)
16	〃	有形民俗文化財	不動堂の絵馬	137点	不動堂(松伏町大字築比地)
17	〃	有形文化財	新利根川碑	1基	路傍(松伏町大字金杉)
18	1983年11月16日	〃	図 像 鈔	10巻	静栖寺(松伏町田中)
19	〃	〃	十一面観音立像	1軀	〃
20	〃	〃	両界曼荼羅	一対	〃
21	〃	有形民俗文化財	築比地下神社庚申塔群	11基	築比地下神社(松伏町大字築比地)
22	1990年7月27日	〃	東陽寺庚申塔群	3基	東陽寺(松伏町大字下赤岩)
23	(指定解除)		(旧石川民部屋敷)		
24	2001年2月22日	有形文化財	地藏堂二十一仏板碑	1基	地藏堂(松伏町大字上赤岩)
25	〃	〃	飯島家文書	2177点	個人(松伏町大字上赤岩)
26	〃	〃	町有石川民部家文書	1166点	松伏町役場(松伏町大字松伏)
27	2005年4月22日	〃	上赤岩出土中世埋納銭	一括	個人(松伏町大字上赤岩)
28	〃	〃	八幡宮及び熊野権現社の朱印状	18枚	八幡神社(松伏町大字大川戸)
29	〃	〃	司馬江漢画赤岩渡図	1点	個人(松伏町大字上赤岩)
30	〃	〃	浅間東遺跡出土加曾利E式土器	1点	松伏町役場(松伏町大字松伏)
31	〃	〃	静栖寺の松伏十景詠額	1点	静栖寺(松伏町田中)
32	2015年3月25日	有形民俗文化財	慶安の庚申塔	1基	神明社(松伏町大字大川戸)
33	2021年7月21日	有形文化財	私年号題目板碑	1基	栄光院(松伏町大字築比地)
34	〃	〃	木造不動明王坐像	1軀	栄光院(松伏町大字築比地)
35	〃	〃	木造薬師三尊像及び十二神将像	15軀	寺地集会所(松伏町大字上赤岩)
	1923年3月31日	県・史 跡	栄光院貝塚		栄光院周辺(松伏町大字築比地)
	1932年3月31日	県・天然記念物	大川戸の大イチョウ	1本	八幡神社(松伏町大字大川戸)
	1934年3月2日	県・史 跡	光厳寺の帰依仏塔	1基	光厳寺(松伏町大字大川戸)
469	2000年3月10日	県・有形文化財	本郷貝塚出土縄文土器及び石器	9点	松伏町役場(松伏町大字松伏)
170	1976年10月1日	県選定重要遺跡	本郷貝塚		松伏町大字築比地

(5) 文化財保護・町史編さん事業計画

事業名	ねらい・内容	日 程	回数等	対 象
歴史講座	町に関係するテーマで歴史について学び、郷土に対する理解と愛着を深める。多世代交流学習館事業として実施予定。	検討中	1回	一般
子ども歴史講座	子どもたちに土器づくりやまが玉づくりなどの体験活動を行う機会を提供することにより、歴史及び郷土への関心を高める。	7月～8月	2回	小学校 4年～6年
文化財写真展	町内の文化財をテーマとした、写真パネルを中心としたミニ企画展を実施し、文化財保護思想の普及・啓発を図る。	12月～2月	1回	一般
町史編さん事業	町史通史編刊行に向け、資料の収集、調査、研究、会議を行い通史編に先立つ資料編を刊行する。令和5年度は、『松伏町史 文化財編 石造物・絵馬・指定文化財』を刊行する。	通年	1回	

指 定 理 由
寺伝を描いた大型の鬼子母神絵馬として貴重。この他、幕末から明治の乳もらい絵馬多数。
寛文2年銘。高度な鑄造技術による作品。
中世末期の本格的仏像で、光背も現存している。
鎌倉地方で南北朝時代に流行した法衣垂下像。赤岩郷と鎌倉のつながりを示唆。
土地の開発者石川民部家の墓石群。慶長年間からの大型宝篋印塔、五輪塔が林立する。
正安3年造立。光厳寺のものとならび、歴史資料として価値の高いもの。
江戸時代前期～中期の石川民部家の大事業を示す。
五穀豊穰・悪疫退散を願い、正保年間から伝えられる獅子舞。
松伏町で最古級の庚申塔。江戸時代前期の特徴をもつ。
県内に2点しかない獅子舞の免許状。正保3年に獅子舞を伝授されたことを証する。
室町時代の仏画として数少ないもの。
(滅失)
南北朝時代の造像と推定される本格的彫像。
徳川家康直筆の坪割書き、伊達政宗書状の他、伊奈氏関係文書多数。
松伏町を代表する「鎮守の杜」。
江戸後期から近代の民間信仰をものがたる絵馬群。
元文元年の庄内古川、江戸川改修記念碑。
県内に2点しかないもの。江戸時代。
平安時代末期の作。松伏町最古の仏像。
江戸時代中期の絹本着色。
江戸時代中期～明治時代の様々な庚申塔がそろっている。
「三戸消滅」と刻まれた希少な例や、江戸時代前期の庚申塔を含む。
(滅失)
天正2年に「申侍」の講によって造立された結衆板碑。地域的に限定されていて貴重。
寛永2年～昭和期の一括文書。近世は年貢割付状、皆済目録、用水関係が多く、近代は多分野の文書が残っている。
石川民部関係の一連の文書であり、日光社参、小金原中野牧鹿狩関係を中心とした文書群。
推計4,000枚の銅銭。北宋銭が中心で、蕙のようなもので包んで地中に埋めた形跡がうかがえる。
三代、五代、八代～十四代将軍発給の朱印状が原本で残っており貴重。
洋画の先駆者である司馬江漢が、古利根川の赤岩渡し付近を素描的に描いている。江戸後期の作。
装飾的な文様が施文され、東北地方の土器と類似した特徴を持つ。
江戸時代の松伏村の風景を題材とした漢詩と短歌が刻まれている。
慶安2年造立の松伏町最古の庚申塔で、江戸時代前期の初期型庚申塔の特徴を有する。
命禄3年銘の私年号を刻むほぼ完形の題目板碑。
町内所在の不動明王像で最古であると同時に地域信仰を考える上で貴重。
薬師三尊像と十二神将像を完備。中央の薬師如来には胎内仏等あり。
縄文時代後期に属するヤマトシジミを主体とする主淡貝塚。
指定時点で推定樹齢650年、樹高約29m、幹周り約8.3mの県内屈指の大イチョウ。
名僧一山一寧の書と伝わる正安年間の板碑。
縄文時代後期堀之内期の一括資料。土壇内に埋納されていた様々な器形の土器7点と石器2点。
貝塚を含む縄文・古墳・平安時代の大規模な複合遺跡。